

備前市 事務事業 評価表

事務事業名	健康づくり推進協議会事業	コード	02-02-06-03
		担当課・係	保健課 健康係
		担当者	豊福 敬子
		電話	64-1820
事業実施期間	平成17年～		
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり	
	中項目(基本施策)	健やかで生き生きとしたまちづくり	
	小項目(施策)	健康づくり・健康づくりの基盤整備	

事業について	
目的 (何のために)	市民の健康保持増進のため、必要な施策や事業を検討する
対象 (誰・何を対象に)	健康づくり推進協議会委員、市民全員
内容	健康づくり推進協議会の開催 健康びぜん21中間評価・見直し、備前市食育推進計画の検討

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
	1回	1回	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	52	国庫補助金等		直接事業費	20	国庫補助金等	
	人件費	425	委託費負担		人件費	505	委託費負担	
	市債			市債				
合計	477	一般財源等	477	合計	525	一般財源等	525	
	0	一般財源等	0		0	一般財源等	0	

必要人員	0.05	人	0.05	人
結果指標名	推進会議		専門委員会	
結果指標量	1		1	
単位	回		回	
対前年比	-		100.00%	
活動にかかるコスト	477,000	円	525,000	円
単位当たりコスト	477,000	円	525,000	円

事業の成果	
どのような成果を得ようとしているか	市民の健康保持増進のために必要な施策を検討し、地区の特性に応じた健康づくり計画、食育推進計画を立案し、実施の推進を図る。
成果指標名	「健康びぜん21」の見直し 「備前市食育推進計画」の策定
式又は説明	平成20年度に見直し、策定を実施
成果指標量	17年度
対前年比	-
到達目標値	到達目標年度
	平成20年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等：健康増進法、食育基本法、備前市健康づくり推進協議会規則
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	説明	平成20年度は「健康びぜん21」計画の中間評価の年となっており、その計画の中に「備前市食育推進計画」を盛り込む予定である。その準備作業として、地域、学校、ボランティア等から委員を選定し、庁内関係課職員とも協議を行い、市の健康課題を明確にする。
目標値	結果指標量	1	結果指標量

総合評価	健康づくり推進協議会・専門委員会を実施し、食育についての勉強会を実施した。今後は、委員による協議で、市の健康課題、今後の方針、目標等を探り、平成20年度からの備前市食育推進計画の策定、健康びぜん21の改定を目指す。	評価区分 <A~E> C
------	---	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	計画見直し、策定に際して、協議会の意見や要望を反映させていく。	平成20年度	教育関係者や関係団体の代表者と協議して計画の策定に取り組むことで、それぞれの責務と役割を明確にし、協働して、健康づくり支援や食育を推進することができる。
有効性	備前市食育推進計画の策定に向け、食育に関する専門部会を設置し、計画の策定や推進体制の整備を図る。	平成20年度	